

来週の「売り物記事」はこれ



2018年3月23日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

柳美里さん 「おらほの作家」と呼ばれて

25日(日)



芥川賞作家、柳美里(ゆうみり)さん(49)＝写真＝が福島県南相馬市小高(おだか)区の自宅の一部を改造し、来月初旬に書店をオープンします。東京電力福島第1原発の20キロ圏内に位置し、2016年7月まで避難指示が出されていた地域です。住民の帰還がなかなか進まない地で、なぜ書店なのか。なぜ神奈川県から南相馬市へ移住したのか。地元住民から「おらほ(私たち)の作家」と呼ばれるようになった柳さんの、現在に至る道のり取材しました。



筆者は東京学芸部の鶴谷真記者です。

森友問題に揺れる安倍政権、国会、霞が関に直言

武村正義元蔵相の「目」

夕刊特集ワイド 26日(月)



あれほど盤石に見えた「安倍1強」が揺らいでいます。学校法人「森友学園」への国有地売却に関する決裁文書改ざん問題で、安倍晋三政権の支持率は、大きく落ち込みました。前例のない不祥事はなぜ生まれたのか。「劣化」も指摘される政治の現状をどう見るべきか。そして官僚の誇りとは――。かつて腐敗する政治と決別するために「政治改革」をリードした武村正義元蔵相＝写真＝に、松田喬和・毎日新聞特別顧問がざばり聞きます。

ハマりました バス降車ボタン

くらしナビB面 28日(水)

バスを降りるときに押す降車ボタン。実はさまざまな種類があります。横浜市の男性会社員は4歳のころから降車ボタンに興味を持ち、新しい車体を見かけては乗ってボタンを押していました。16歳のときに車庫で廃車の降車ボタンをもらっていろいろ収集を開始し、全国各地を回って約600個も集めました。これは日本でつかわれたボタンの9割以上とといいます。



私の胸のうち だまされた!

週刊 サラダぼうる A面 26日(月)



読者の皆様からの本音の投稿で作る「私の胸のうち」。今回のテーマ「だまされた!」です。お金や物をとられた詐欺の被害よりも、伴侶にだまされて、結婚後「こんなはずではなかった……」たという話しが多く寄せられました。少数ながら、だまされたことで幸せになったという人も。人を見極めることが一番難しいことが実感できるかもしれません。

企画「旧優生保護法を問う 開いた扉」

社会面 26日(月)から

旧優生保護法(1948~96年)に基づき強制不妊手術を受けた障害者らへの救済に向けた動きが国レベルでスタートしました。半世紀以上にわたって「闇」に包まれていた手術の実態について、重い扉を開くように関係者が語り始めました。きっかけは仙台地裁に起こされた初の国家賠償請求訴訟。宮城県職員による手術記録の発見が事態を変えました。5回の掲載です。



サッカー日本代表企画

運動面 30日（金）から3回



サッカー日本代表は遠征先のベルギーで、3月23日にアフリカのマリ、27日に欧州のウクライナと親善試合を行います。この2試合は、6月14日に開幕するワールドカップ（W杯）ロシア大会の日本代表選手の選考材料として重要な機会となります。その選手起用や試合内容から見えてくる日本代表の現在の戦力や課題、今後の代表選考の注目点や見通し、ハリルホジッチ監督の考え方などを、3回の連載でまとめます。

ネアンデルタール人の謎

科学面 29日（木）

現生人類のホモ・サピエンス（新人）が描いたとされてきたスペインの洞窟壁画は、実は旧人のネアンデルタール人が約6万年以上前に描いたものだった——。ドイツのチームが洞窟を分析した結果、こんな可能性が浮上しました。ネアンデルタール人は約4万年前に絶滅し、詳しいことは分かっていません。洞窟壁画とネアンデルタール人の謎を取材しました。



消費者契約法改正のポイント

くらしナビA面 30日（金）



成人年齢を現行の20歳から18歳に引き下げる民法改正案に関連して、政府は消費者契約法改正案を閣議決定しました。成人年齢が引き下げられると、18、19歳でも、親の承諾なしにローン契約が可能となります。若者が悪質商法の被害を受けないよう、不安をあおる商法や恋愛感情を悪用するデート商法の取り消しを盛り込みました。法案のポイントをまとめました。